Ⅰ　事業評価総括表

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道大宮肘内線舗装修繕事業	塩谷町	5,616,000	4,400,000	

（備考）　事業が２つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ　事業評価個表

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業名
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道大宮肘内線舗装修繕事業

交付金事業者名又は間接交付金事業者	塩谷町
交付金事業実施場所	塩谷町大字大久保地内
交付金事業の概要	道路舗装工事　表層工　L＝220ｍ　W＝6.50ｍ　厚さ5cm　A＝1,430㎡　ほか 区画線設置工　L＝700.2ｍ
総事業費	5,616,000
交付金充当額	4,400,000
交付金事業の成果及び評価	事業を実施した結果、車両の通行に安全が確保され、利便性と安全性に寄与する結果となった。

交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
工事請負契約	指名競争入札	小島土建株式会社	5,616,000

成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無

特になし。

本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方

翌年度以降は交付金事業を活用して別の箇所の整備を図りたい。

交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特になし。

（備考）(1)　事業ごとに作成すること。

(2)　番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)　交付金事業の成果及び評価の欄には、当該事業の説明及び交付申請時における目標（進捗度、利用量並びに効果）をできる限り数値を用いて記載すること。

(4)　契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。

(5)　成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

(6)　本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。